



今年度の前期学校評価の集計結果をお知らせします。今回も多くの保護者の皆様にご回答をいただきました。ありがとうございました。

提出されたデータは、教職員自己評価・保護者評価・生徒評価のA・B・Cの結果をそれぞれ5点・3点・1点と換算し、下記にその平均値を示しました。さらに、示された数値の3.5以上を肯定評価項目、3.0未満を要改善評価項目としました。この結果をもとに、分掌部会・学年部会で検討を重ね、職員会議で全体確認をした後のまとめを学校だよりとしてお示しします。今後とも、信頼される学校づくりを目指し努力を重ねてまいります。保護者の皆様の益々のご理解とご協

◎今年度の重点目標

令和2年度前期 岩内第一中学校 学校評価

提出率 95.2%

「自分の将来を描き、主体的に発信できる生徒の育成」	
(1) 「自ら学ぶ姿勢を育てる」	～主体的な学習習慣の定着～
(2) 「自信が持てる心を育てる」	～自己肯定感の高揚～
(3) 「自らの判断で活動できる力を育てる」	～自己決定力の育成～
(4) 「職員の心身の安定を図る組織をつくる」	～個の力が活かされる組織力～

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題
自ら進んで取り組む家庭学習の習慣化について	私は生徒の学習用具持ち帰りの指導・徹底に努めた。	3.3	お子様は、家庭学習の取組を考えながら、家庭に持ち帰る学習用具を決めている。	3.3	学習用具は、家庭学習の取組を考えながら、学校に置いて帰る物と持ち帰る用具を決めている。	3.7	・学習用具の持ち帰り（生徒のカバン重量負担軽減に関する課題）については、一昨年度から継続し、粘り強く指導に取り組んだ結果が成果として表れたと言える。 ・主体的な学習習慣の定着について、教師と生徒の評価に差がみられる。あらためて、学習指導の工夫・改善（家庭学習習慣の定着含む）に努めたい。 ・家庭学習習慣の確立を目指し、生徒が自ら気づけるような指導の工夫を学年・学級・教科等、様々な場面で呼びかけながら行っていきたい。
	私は、生徒自身の学習課題を明確にし、自ら学習に向かう姿勢づくりに努めた。	3.9	お子様は、自分の学習課題（教科別の得意・不得意、単元毎の内容の違い等）を理解しながら学習に取り組もうとしている。	2.9	わからないことは、そのままにせず、わかるまで努力しながら学習に取り組むようにしている。	3.2	
	私は、生徒の日々の家庭学習（宿題や塾での取り組みで終わらせない学習方法）の指導に努めた。	3.0	お子様は、家庭学習の習慣が身についている。	3.0	日々の家庭学習には計画的に取り組んでいる。	2.7	
	休校期間中の課題はその後の学習の見直しをもって、適切に与えることができた。	4.4	お子様は、休校期間中も学校から与えられた課題に自ら進んで学習に取り組むことができた。	3.3	休校期間中は、学校から出された課題に取り組み計画的に学習を進めることができた。	3.8	
自分自身と向き合う自己理解	私は、自己評価・他者評価などを通し、自己を振り返る学年・学級経営計画の立案に努めた。	3.2	学校は、保護者や地域の意見を聴き、その期待に応えようとしている。	3.4			・保護者評価から、学校の取組には一定の成果があったと判断できる。今後も、保護者や地域の期待に応えられるような学校づくりに努めたい。～学年及び学級経営の見える化、保護者面談・家庭訪問・等の活用～ ・前期は新型コロナウイルスの影響により各種行事を行うことができなかった。後期は、各種行事を通して、生徒の健やかな成長をうながす指導に努めたい。 ・道徳授業の充実と日常の道徳指導を通し、子供たちの道徳性を深めていきたい。後期は、授業参観等を活用し道徳授業の公開に取り組んでいきたい。 ・教員と保護者・生徒での評価の差が大きかったことを第一の反省点として受け止めたい。今後は様々な場面を通し、生徒が成功体験を実感できる機会を多く設定し、自己肯定感の高揚に努めたい。
	私は、授業や行事など、日常生活に直結した指導計画の立案に努めた。	3.5	日常の授業や学校行事を通して、お子様の成長を感じることができる。	3.4	学校生活を通して、自分やクラスの成長が感じられる。	3.2	
	私は、指導内容(価値項目)を押さえた道徳授業を行った。	3.6	学校生活を通してお子様の道徳性の向上を感じる。	3.2	道徳の授業を通して、自分の心が成長していると感じる。	3.6	
	私は、生徒の成功体験の機会設定を行うことによる自己理解を深めさせる指導に努めた。	3.6	お子様は、自分に自信が持てる心が備わってきている。	2.8	自分には良いところがあると思う。	2.9	
	休校期間中は、生徒の安定した生活や学習に配慮した対応に努めた。	3.6	学校は、休校期間中のお子様の生活・学習について、適切に対応した。	3.3	休校期間中も落ち着いて生活し学習に取り組むことができた。	4.0	

達成感を実感できる学校生活	私は、校内外における「一・中生挨拶」の指導・強化に努めた。	3.9	お子様は、進んで挨拶をしている。	3.8	積極的にあいさつをしている。	4.4	・挨拶についてはいずれも高い評価だった。今後は、生徒間や校外での挨拶をより一層できるような指導を続けていきたい。 ・生徒の自己判断・自己決定の場を数多く設定し、生徒の成長をより一層促したい。また、その判断・決定の評価を適切に行いながら、自己肯定感の向上につなげていきたい。 ・学習や生活の決まりに関して、教職員間の段差のない指導が行えていると判断できる。今後も報告・連絡・相談を密にしながら適切な指導に努めたい。 ・いじめ問題については、校内のいじめ対策委員会を組織の中心に置きながら、継続していじめの未然防止・撲滅に努めていきたい。 ・休校期間中の学校の取組について、今後は、各種お便り、HPの活用等を通して、家庭に安心感が届くよう工夫改善を行っていきたい。
	私は、実践に導く生徒の自己判断・自己決定の機会設定に努めた。	4.0	お子様は、自分で考え、物事を判断している。	3.4	物事を決めるときは、自分の考えで判断している。	3.5	
	私は、学年・教科・部活等の指導体制の連携強化に努めた。	3.8	学校は、先生方の連携が取れた段差のない指導をしている。	3.4	先生方は、学習や生活の決まりなどについて、みな同じようなことを言うのでわかりやすい。	4.0	
	私は、いじめを発生させない未然防止の取組に努めた。	4.0	お子様は、いじめは絶対に許さないという考えで生活している。	4.2	いじめは絶対に許さないという考えで、思いやりの気持ちを大切にしながら毎日を過ごした。	4.3	
	コロナによる感染症対策をはじめ、生徒が安心して毎日を過ごせる日常づくりに努めた。	4.1	(学校の感染症対策について) 学校に安心してお子様を通わせることができる。	3.7	(学校の感染症対策について) 学校は安心して通うことができる。	4.0	
教職員の心身の充実	私は、組織としての各種業務運営を確立させることによる個人負担の軽減に努めた。	3.0					・校内の組織体制整備が進み、一定の成果がみえている。今後は、部会運営の改善を目標に、各個人が見通しを持った業務遂行に努めたい。 ・PDCAサイクルが常となり、一定の成果がみえる。今後は、次回(次年度)につながる主体的な改善策提示という次のステップに踏み出すことで更なる改善を図りたい。 ・小中連携については指定事業の活用から、大きな成果がみえる。今後は、事業の活用にとどまらない、学校全体の取組や町内各校との連携を図りながらより一層の体制強化に努めたい。
	私は、各種業務のPDCAサイクルの徹底に努めた。	3.3					
	私は、小中、中中の連携による体制強化に努めた。	3.2					
働き方改革につなげる地域連携	私は、各種教育活動の取組について教育課程への位置づけを意識し、その指導に努めた。	3.2	学校の各種取組は、その目的や関連性が理解しやすい。	3.4	学校の取組は、目的やつながりがわかりやすい。	3.6	・学校の各種取組について、相互の関連性やそのねらいに応じた適切な教育課程の編成についての検討・改善に努めたい。 ・部活動については、ガイドラインに則り、休養日の設定等、適切に取り組むことができた。 ・1学期末にコミュニティ・スクールの活動が実際のものとなり、大きな成果が確認できた。今後は働き方改革の視点と社会に開かれた学校の二つの視点から、教職員一同が自分事としてCSをどのように活用していくべきかを深く考え、知恵を出し合い、改善を図っていきたい。
	私は、町教委の「部活動指導のガイドライン」に準じた部活指導に努めた。	4.3					
	私は、学校運営協議会(CS)の充実と地域人材の更なる活用に努めた。	2.4	学校は、学校運営協議会を活用するなど、地域人材の活用に努めている。	3.3	地域の方をはじめとする外部の方々と接する機会がある。	3.2	

・その他 ご意見に対する学校の見解

・生徒の水分補給について多くのご意見をいただきました。ご案内の通り、7月から水筒持参を認め、適宜水分補給を行うように指導しています。

・制服のネームについてのご意見をいただきました。着脱の手間は慣れてくると解消されると思いますので、ご家庭でも引き続きご指導願います。学校でも改めて改善の方策を検討します。

・ジャージ登校や日常的な身だしなみについてご意見をいただきました。一般的な常識の範囲内での指導を今後とも継続して行っていきたいと思います。また、特別な行事等ではジャージ登校を認めたり、校内の決まりについての指導も適宜見直しを図ったりするなど柔軟に対応しています。今後ともご理解とご協力お願いいたします。

・年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな活動に制限を加えてきました。現在は、徐々にその影響も緩和されています。今後は、学校の新しい生活様式を基本としながらも、社会に開かれた学校を目指し、保護者の皆様と連携を心掛けた教育活動を展開していきたいと考えます。

・オンライン授業やICT機器の活用についてご意見をいただきました。現在生徒全員分のタブレットパソコン導入が終わり、5G対応の校内Wi-Fi整備を進めている状況です。本格的な活用にはもう少しばらばらの時間をいただきますが、今後はそれらを活用し、指導する教職員の研修も含め充実した環境を整えていく予定です。